

専門学校東京国際ビジネスカレッジ							
コース		キャリアデザインコース					
学年		2年					
科目名		マーケティング戦略					
開講期	2025年度	開講学期	前期	単位	2	授業回数	15
担当教員	谷口 幸広						
到達目標							
(1)用語や定義:経営・マーケティング戦略の用語や定義に慣れる。(2)フレームワーク:ビジネスフレームワークの「使いどころ」を把握し、実践に使えるよう理解を進める。							
講義概要							
昨年度の「マーケティング」を習得したことを前提に、企業が目的を実現するため必要となる「マーケティング戦略」を学ぶ。ビジネスパーソンとして、経営者による経営戦略から「どのような指針・土台をもとにマーケティングを展開していくか?」をビジネスフレームワークを用いて理解を深める。							
学修成果							
(1)ビジネスにおいてマーケティング＝「部分」理解から、「経営」＝全体・繋がりでの理解が促進(2)スピードが求められるビジネスシーンでの意思決定・行動の最適化ができる。							
事前学習							
必要な時間:15回×10分／日々のニュース(ビジネス・社会)の確認							
事後学習							
必要な時間:15回×15分／共有される講義資料PPTの内容確認(期末試験回は試験内容の振り返り)							
授業計画							
第1回	ガイダンス:(1)講師自己紹介(2)前提条件の共有(3)基礎用語の確認						
第2回	(1)復習(2)基礎用語の確認(3)ビジネス成立の要件(4)マーケティングの必要性／演習						
第3回	(1)復習(2)基礎用語の確認(3)マーケティングの必要性とその背景・原因／演習						
第4回	(1)復習(2)戦略とは(3)戦術とは(4)マーケティング戦略とは／演習						
第5回	(1)復習(2)マーケティング演習および発表						
第6回	(1)復習 (2)ビジネスキャンパスモデル説明／演習						
第7回	(1)復習(2)興味関心ある企業のビジネスモデルキャンパス」の作成演習と発表①						
第8回	(1)復習(2)興味関心ある企業のビジネスモデルキャンパス」の作成演習と発表②						
第9回	(1)復習(2)競合他社のビジネスモデルキャンパス作成／演習						
第10回	(1)復習(2)マーケティング・マーケティング戦略視点での企業研究①／演習						
第11回	(1)復習(2)組織体制とマーケティング機能／演習						
第12回	(1)復習(2)マーケティング・マーケティング戦略視点での企業研究②／演習						
第13回	(1)復習(2)マーケティング・マーケティング戦略での企業研究をふまえた志望動機作成／演習						
第14回	第1回～第13回講義の振り返りと要点の確認						
第15回	期末試験						
成績評価の方法							
区分		割合(%)	内容				
定期試験		70					
期試験以外(授業内の課題・参加度・出席態度等)		30					
その他							
教科書							
教科書は指定せず、適宜、プリント等を配布							
参考書							
翔泳社「ビジネスモデルナビゲーター」							

専門学校東京国際ビジネスカレッジ							
コース		キャリアデザインコース					
学年		2年					
科目名		経営戦略					
開講期	2025年度	開講学期	後期	単位	2	授業回数	15
担当教員	谷口 幸広						
到達目標							
(1)「業界構造」を「5つの競争要因」を通じて理解する。(2)「競争優位」を生み出すストーリー(流れ)を作れるようになる。(3)興味関心ある企業・就職希望企業が属する業界構造を分析する。							
講義概要							
マイケル・E・ポーター氏が提唱している「競争戦略」の基礎を学ぶ。現実のビジネスは競争状態が当然であり、卓越した業績を継続して出続けなければ生き残れない。その為に必要なのは「業界構造の理解」と「競争優位になるための差別化・独自性の確立」となる。当該講義では「5つの競争要因」を中心にして講義・演習を行う。							
学修成果							
(1)短期:就職活動における「業界分析の理解深度」が促進される。(2)長期:勤務先企業において担当職務が経営戦略にどう関わるか全体像が掴め、職務遂行の質があがる。(3)経営戦略に参画した場合、長期的利益確保を検討する一助となる。							
事前学習							
必要な時間:15回×10分／日々のニュース(ビジネス・社会)の確認							
事後学習							
必要な時間:15回×15分／共有される講義資料PPTの内容確認							
授業計画							
第1回	(1)前期復習 (2)競争戦略論の概要 (3)5つの競争要因説明／演習(個人)						
第2回	(1)復習 (2)「競争」とは何か／演習(個人・グループ) (3)復習:「戦略・戦術」						
第3回	(1)復習 (2)「5つの競争要因」①(自社・競合他社／業界内の競争)／演習(個人・グループ)						
第4回	(1)復習 (2)「5つの競争要因」②(買い手との交渉力)／演習(個人・グループ)						
第5回	(1)復習 (2)「5つの競争要因」③(売り手との交渉力)／演習(個人・グループ)						
第6回	(1)復習 (2)「5つの競争要因」④(新規参入の脅威)／演習(個人・グループ)						
第7回	(1)復習 (2)「5つの競争要因」⑤(代替品の脅威)／演習(個人・グループ)						
第8回	(1)復習 (2)「5つの競争要因」⑥各要因同士の繋がり(ストーリー)を検証						
第9回	(1)復習 (2)「価値提案」を変更しての5つの競争要因の変化①／演習(個人)						
第10回	(1)復習 (2)「価値提案」を変更しての5つの競争要因の変化②／演習(グループ))						
第11回	(1)復習 (2)「3つの基本戦略」概要 (3)コストリーダーシップ戦略／演習(個人・グループ)						
第12回	(1)復習 (2)「3つの基本戦略」:差別化戦略／演習(個人・グループ)						
第13回	(1)復習 (2)「3つの基本戦略」:集中戦略／演習(個人・グループ)						
第14回	第1回～第13回講義の振り返りと要点の確認						
第15回	期末試験						
成績評価の方法							
区分		割合(%)	内容				
定期試験		70					
期試験以外(授業内の課題・参加度・出席態度等)		30					
その他							
教科書							
教科書は指定せず、適宜、プリント等を配布							
参考書							
①総合法令「ポーター教授の競争の戦略入門」②新聞、Webサイトなどから適宜引用							

専門学校東京国際ビジネスカレッジ

コース		キャリアデザインコース					
学年		2年					
科目名		ビジネスマナーⅢ					
開講期	2025年度	開講学期	前期	単位	2	授業回数	15
担当教員	井上 由美子						
実務経験							
専門学校ビジネスマナー講師14年　企業研修(ビジネスマナー・ビジネス文書)講師8年							
到達目標							
①仕事を通して社会貢献する意識を高める。②社会人常識マナー検定2級取得の準備を通して基礎学力向上させる。③メールを使って企業の人事担当者とやり取りできる。							
講義概要							
①ビジネスマナーへの理解をさらに深め、社会人として必要な知識を積み上げる。②就職活動中の企業訪問や人事担当者とのコミュニケーションにおいて、良い結果に結びつく対応力と判断力を身につける。③朝礼は1年次に引き続き継続する。④社会人常識マナー検定2級取得に向けて基礎学力向上のためのトレーニングを行う。							
学修成果							
①自信を持って、企業人とコミュニケーションが取れる。②社会人としての会話力や文字コミュニケーション力が向上する。③社会人常識マナー検定2級合格レベルの基礎学力が身につく。							
事前学習							
報告・連絡・相談の実践訓練として、毎回実施する朝礼で行う1分スピーチの話題を見つけ話せるように準備する。							
事後学習							
①授業で配布したプリントを音読する。　②プリント掲載の内容をノートにまとめ直す。							
授業計画							
第1回	朝礼　2年次の学習予定と目標設定						
第2回	朝礼　情報整理　言葉の解像度を上げる						
第3回	朝礼　話の伝え方　PREP法で伝えるワーク						
第4回	朝礼　日本の雇用制度　求人票の見方　社会人常識マナー検定2級社会常識問題①						
第5回	朝礼　日本の企業文化　仕事の服装　社会人常識マナー検定2級社会常識問題②						
第6回	朝礼　ビジネス文書とメールの書き方　社会人常識マナー検定2級社会常識問題③						
第7回	朝礼　ビジネスで使用する携帯電話のマナー　社会人常識マナー検定2級コミュニケーション問題①						
第8回	朝礼　会社訪問、受付での立ち振る舞い　社会人常識マナー検定2級コミュニケーション問題②						
第9回	朝礼　敬語演習①書く敬語　社会人常識マナー検定2級コミュニケーション問題③						
第10回	朝礼　敬語演習②職場での会話　社会人常識マナー検定2級ビジネスマナー問題①						
第11回	朝礼　敬語演習③取引先との会話　社会人常識マナー検定2級ビジネスマナー問題②						
第12回	朝礼　郵便知識　ファイリング　賀寿　社会人常識マナー検定2級ビジネスマナー問題③						
第13回	朝礼　日報・報告書の役割と書き方　守秘義務と情報の取り扱い　社会人常識マナー検定2級総合演習①						
第14回	朝礼　各種資料の引用・要約に関するルール　著作権　社会人常識マナー検定2級総合演習②						
第15回	期末試験						
成績評価の方法							
区分		割合(%)	内容				
定期試験		70					
期試験以外(授業内の課題・参加度・出席態度等)		30					
その他							
教科書							
教科書は使用せず、適宜プリントを配布							
参考書							
社会人常識マナー検定過去問題集2級							

専門学校東京国際ビジネスカレッジ							
コース		キャリアデザインコース					
学年		2年					
科目名		ビジネスマナーⅣ					
開講期	2025年度	開講学期	後期	単位	2	授業回数	15
担当教員	井上由美子						
到達目標							
①社会人に向けての準備期間と位置付け、入社後に必要となるビジネスマナーが身に付く。②PATF外国人実務能力検定3級に合格する。							
講義概要							
2年間の総仕上げとして、大人のマナーについて学習する。日本の冠婚葬祭の基礎知識や食事のマナーが、ビジネスにどのように繋がるかといった視点を持ち、人として高評価を得られるような知識を積み上げるとともに、日本社会への理解を深め人間力を磨く。日本の冠婚葬祭を出身国と比較し、多文化共生、異文化理解を深める。							
学修成果							
社会人として、大人として、知っていれば失敗を防ぐことができるマナーや常識の知識が身に付く。日本の行事やしきたりがビジネスにつながることを理解する。							
事前学習							
報告・連絡・相談の実践訓練として、毎回実施する朝礼で行う1分スピーチの話題を見つけ話せるように準備する。							
事後学習							
①授業で配布したプリントを音読する。 ②プリント掲載の漢字、用語をノート1ページ分書く。□							
授業計画							
第1回	朝礼 ビジネスマナーⅠ・Ⅱ・Ⅲの振り返りと今後の課題確認 目標設定						
第2回	朝礼 来客応対 応接室・会議室・エレベーターなどの席次						
第3回	朝礼 名刺交換実習 名刺の取り扱い						
第4回	朝礼 会議の準備と流れ 会議の種類						
第5回	朝礼 議事録の書き方						
第6回	朝礼 情報セキュリティ 貸与品の取り扱い						
第7回	朝礼 日本の冠婚葬祭知識とビジネスのつながり						
第8回	朝礼 「冠」のしきたり 賀寿						
第9回	朝礼 「婚」のしきたり 「葬」のしきたり フォーマルウェアの基礎知識						
第10回	朝礼 「祭」のしきたり 日本のお正月						
第11回	朝礼 食事のマナー 食文化と歴史 食事とビジネスのつながり						
第12回	朝礼 和食のマナー 日本料理の基礎知識 箸使いの作法						
第13回	朝礼 西洋料理のマナー 立ち居振る舞いとカトラリーの使い方						
第14回	朝礼 中華料理のマナー						
第15回	期末試験						
成績評価の方法							
区分		割合 (%)	内容				
定期試験							
期試験以外 (授業内の課題・参加度・出席態度等)							
その他							
教科書							
教科書は指定せず、適宜プリントを配布							
参考書							

専門学校東京国際ビジネスカレッジ							
コース		キャリアデザインコース					
学年		2年					
科目名		プレゼンテーションⅢ					
開講期	2025年度	開講学期	前期	単位	2	授業回数	15
担当教員	沢井裕						
到達目標							
プレゼンテーションにおいて、効果的なパワーポイントの資料作成、及び論理的表現ができる。							
講義概要							
今講義においては2つの目的を持って取り組む。1つは発表時に必要なパワーポイントを使用したスライド作成スキルの習得。もう1つはプレゼンテーションにおいて1年次はグループ発表がメインだったが、個人でのスライド作成、構成作成、表現ができることを目標に個人での発表を行う。							
学修成果							
パワーポイントを利用した資料作成ができる。論理的なコミュニケーションが取れる。それを活用した個人発表ができる。							
事前学習							
講師が指定する宿題を事前学習としておこなっておく。60分程度							
事後学習							
講師が指定場所にアップした講義スライドや講義資料を見直し復習しておく。60分程度							
授業計画							
第1回	PowerPoint作成①PowerPointの一般操作とスライド作成						
第2回	PowerPoint作成②PowerPointの表やグラフを用いたスライド作成						
第3回	PowerPoint作成③PowerPointの図形や色書式設定を使ったスライド作成						
第4回	PowerPoint作成④PowerPointの画面切り替えやアニメーションを使った効果的なスライド作成						
第5回	PowerPoint作成⑤PowerPointのCanvaを用いたビジネススライド作成						
第6回	プレゼンテーション①決意表明:1年の決意表明を構成、表現を動画撮影						
第7回	プレゼンテーション②プレゼンテーションのアウトライン確認						
第8回	プレゼンテーション③表現1:ジョブス動画から表現法理解、実践						
第9回	プレゼンテーション④表現2:孫正義動画から表現法理解、実践						
第10回	プレゼンテーション⑤表現3:TED動画から表現法理解、実践						
第11回	プレゼンテーション⑥スライド作成:5秒でわかるスライド作成法						
第12回	プレゼンテーション⑦表現動作:人を惹きつけるジェスチャー講義						
第13回	プレゼンテーション⑧発表準備(構成・セリフ作成、スライド準備)						
第14回	プレゼンテーション⑨個人発表(発表、評価、FB)						
第15回	定期試験						
成績評価の方法							
区分		割合(%)	内容				
定期試験		70					
期試験以外(授業内の課題・参加度・出席態度等)		30					
その他		0					
教科書							
教科書配布せず適宜講義資料を配布しながら授業を行う							
参考書							
スティーブジョブス驚異のプレゼン(著者:カーマイン・ガロ、出版社:日経BP社)							

専門学校東京国際ビジネスカレッジ							
コース		キャリアデザインコース					
学年		2年					
科目名		プレゼンテーションⅣ					
開講期	2025年度	開講学期	後期	単位	2	授業回数	15
担当教員	沢井裕						
到達目標							
実際のビジネスの場面の多くでプレゼンテーション学習を活用することを目標とする、具体的にはインタビューやチームでの共同作業、企画提案、スピーチ等である。							
講義概要							
今講義においてはプレゼンテーションを軸とした様々な表現方法を学習する。プレゼンテーションの他にも企画書やCM動画作成などを通して場面に応じた柔軟な表現力獲得を目指す。またその過程でのグループ作業を通してチームビルディングに必要な知識を学習する。							
学修成果							
受容、共感を用いて相手の気持ちを重視した傾聴ができる。チームの役割を把握したグループ作業ができる。CM、企画書、スピーチ、ビジネスプレゼン等場面での表現ができる。							
事前学習							
講師が指定する宿題を事前学習としておこなっておく。60分程度							
事後学習							
講師が指定場所にアップした講義スライドや講義資料を見直し復習しておく。60分程度							
授業計画							
第1回	スピーチ①表現法：呼吸法、発声法及び表現方法の理解、実践						
第2回	スピーチ②スピーチコンテスト(発表、評価、FB)						
第3回	ビジネス文書①ビジネス文書作成ルール						
第4回	ビジネス文書②企画書作成(目的と作成方法)						
第5回	ビジネス文書③企画発表(企画書⇒スライド作成)						
第6回	チームビルディング①基礎概論：グループとチームの違い						
第7回	チームビルディング②実践：企業研修での複数タスクの実践練習						
第8回	チームビルディング③CM作成：役割分担、メッセージ確認し動画撮影						
第9回	チームビルディング④：CM講評会(視聴、発表、評価、FB)						
第10回	ビジネスプレゼン①言葉遣い・動作：ビジネス場面における作法の理解						
第11回	ビジネスプレゼン②社外プレゼン(社内プレゼンとの違い)						
第12回	ビジネスプレゼン③社外プレゼンスライド作成						
第13回	ビジネスプレゼン④社外プレゼン発表準備(発表、評価、FB)						
第14回	ビジネスプレゼン⑤発表会(発表、評価、FB)						
第15回	定期試験						
成績評価の方法							
区分		割合(%)	内容				
定期試験		70					
期試験以外(授業内の課題・参加度・出席態度等)		30					
その他		0					
教科書							
教科書配布せず適宜講義資料を配布しながら授業を行う							
参考書							
社外プレゼンの資料作成術(著者：前田鎌利、出版社：ダイヤモンド社)							

専門学校東京国際ビジネスカレッジ							
コース		キャリアデザインコース					
学年		2年生					
科目名		外国語Ⅲ					
開講期	2025年度	開講学期	前期	単位	2	授業回数	15
担当教員	山北 麻美						
到達目標							
・自国の文化を知り海外との違いを認識する。 ・英語圏の文化や行事を知り興味を持つようになる。 ・怖がらずに進んで英語で話したり反応できるようになる。 ・英語を使って自分の気持ちや考えを伝えようすることができる。							
講義概要							
本講義では、改めて自国のことを知り海外との違いを知り理解を深めます。 外国語とその文化に触れ理解を促進し、語学を使ってコミュニケーションをとる楽しさを体感し英会話の基礎を養います。 基本的な文法や単語を確認した上で、実際に使う場面を想定したスキットを通して英語を話す・使う練習をします。 毎回動画を見て会話表現を学ぶと共に自国と日本の文化の比較をして英語で表現する練習をします。							
学修成果							
・自国および世界について興味と理解を促進し、異なる文化や考え方を受け入れることができる。 ・英語を使って自分の意見や自国のことを伝えることができる、伝えようとする。							
事前学習							
前回の授業内容の確認 宿題や課題							
事後学習							
宿題や課題 特に指示がない場合は授業の内容を見返し疑問点などがあれば担当に質問する							
授業計画							
第1回	講義ガイダンス						
第2回	Table Manner①ー1：日本と海外のテーブルマナーの違い テーブルマナーの比較、意見交換						
第3回	Table Manner①ー2：日本と海外のテーブルマナーの違い 英語項目：相手の文化を褒める、驚いた時の表現						
第4回	ランチ Bento①ー1：ランチの違い ランチの比較、意見交換 英語項目：食べ物、食材、料理						
第5回	ランチ Bento①ー2：ランチの違い 英語項目：わからない事、誰のものかなどを尋ねて答える、お弁当の説明						
第6回	ランチ Bento①ー3：ランチの違い オリジナル弁当を考え海外の人に伝えるつもりで英語で説明する(発表)						
第7回	The Bus①ー1：日本と海外の交通手段の違い 英語項目：乗り物、場所 日本と海外の交通手段の違い、交通システムなどの比較、意見交換						
第8回	The Bus①ー2：日本と海外の交通手段の違い 英語項目：乗り物に関する会話表現（どの乗り物にのるか、どこから乗るか、どこで降りるかなど）						
第9回	The Bus①ー3： 英語項目：乗換、乗換の説明						
第10回	Fireworks①ー1：日本の夏祭り 日本と会議の夏祭りの比較、情報収集、意見交換 英語項目：イベントや行事に関する英語						
第11回	Fireworks①ー2：日本の夏祭り 英語項目：提案や手伝いを申し出る時の表現						
第12回	Cleaning up①ー1：掃除 日本と海外の学校生活の違いの比較、情報収集、意見交換 英語項目：学校に関する英語						
第13回	Cleaning up①ー2：掃除 英語項目：相手にお願いしたいことを伝える、丁寧にお願いする時の表現						
第14回	これまでの授業のまとめ						
第15回	期末試験						
成績評価の方法							
区分		割合 (%)	内容				
定期試験		60					
期試験以外(授業内の課題・参加度・出席態度等)		40					
その他		0					
教科書							
教科書は指定せず、適宜、プリント等を配布							
参考書							
Website Tokyo global studio を活用							

専門学校東京国際ビジネスカレッジ							
コース		キャリアデザインコース(全専攻)					
学年		2年					
科目名		外国語演習Ⅲ					
開講期	2025年度	開講学期	前期	単位	2	授業回数	15
担当教員	全 眞						
到達目標							
韓国 の文字「ハングル」の読み・書きができるようになる。簡単なコミュニケーションができるようになる。現在の韓国 の文化や韓国人の考え方を知り、異文化に対する理解を深める。							
講義概要							
韓国語を初めて学ぶ学生を対象に、教科書を中心に進めます。リスニングと口頭反復を中心に、韓国語の発音や文字、あいさつから学習を始め、基本語彙や文法へと進みます。							
学修成果							
基本的なコミュニケーションが可能となり、韓国語に対する自信も高まり、上級レベルの学習に進むための基盤が築かれます。韓国語能力試験 2 級の合格や韓国人との会話が可能になり、韓国文化を知る機会が増え、日韓の架け橋となる仕事に就けます。							
事前学習							
前回講義内容復習							
事後学習							
講義内容の復習							
授業計画							
第1回	基本の単語やフレーズ1						
第2回	基本の単語やフレーズ2						
第3回	基本の単語やフレーズ3						
第4回	基本の単語やフレーズ4						
第5回	指定詞「～この〇 ～そのコ～あの저」						
第6回	動詞、形容詞のへヨ体(です/ます)1						
第7回	動詞、形容詞のへヨ体(です/ます)2						
第8回	動詞、形容詞のへヨ体(です/ます)3						
第9回	動詞、形容詞のへヨ体(です/ます)4						
第10回	否定の表現について学ぶ						
第11回	「～がしたい～고 싶다」について学ぶ1						
第12回	「～がしたい～고 싶다」について学ぶ2						
第13回	不可能の意味「～できない呉」について学ぶ						
第14回	期末試験部分復習						
第15回	期末試験						
成績評価の方法							
区分		割合 (%)	内容				
定期試験		60					
期試験以外 (授業内の課題・参加度・出席態度等)		40					
その他							
教科書							
チョヒチョル ひとめでわかる韓国語のきほんのきほん 高橋書店							
参考書							

専門学校東京国際ビジネスカレッジ								
コース		キャリアデザインコース(全専攻)						
学年		2年						
科目名		外国語演習Ⅳ						
開講期	2025年度		開講学期	後期	単位	2	授業回数	15
担当教員	全 眞							
到達目標								
韓国の文字「ハングル」の読み・書きができるようになる。簡単なコミュニケーションができるようになる。現在の韓国の文化や韓国人の考え方を知り、異文化に対する理解を深める。								
講義概要								
韓国語を初めて学ぶ学生を対象に、教科書を中心に進めます。リスニングと口頭反復を中心に、韓国語の発音や文字、あいさつから学習を始め、基本語彙や文法へと進みます。								
学修成果								
基本的なコミュニケーションが可能となり、韓国語に対する自信も高まり、上級レベルの学習に進むための基盤が築かれます。韓国語能力試験 2 級の合格や韓国人との会話が可能になり、韓国文化を知る機会が増え、日韓の架け橋となる仕事に就けます。								
事前学習								
前回講義内容復習								
事後学習								
講義内容の復習								
授業計画								
第1回	復習							
第2回	復習							
第3回	過去形の表現を学ぶ1							
第4回	過去形の表現を学ぶ2							
第5回	過去形の表現を学ぶ3							
第6回	過去形の表現を学ぶ4							
第7回	「～するつもりです～을 거예요」について学ぶ1							
第8回	「～するつもりです～을 거예요」について学ぶ2							
第9回	「～するつもりです～을 거예요」について学ぶ3							
第10回	「～してください～으세요」について学ぶ1							
第11回	「～してください～으세요」について学ぶ2							
第12回	「～しないでください～지 마세요」について学ぶ1							
第13回	「～しないでください～지 마세요」について学ぶ2							
第14回	期末試験部分復習							
第15回	期末試験							
成績評価の方法								
区分		割合(%)	内容					
定期試験		60						
期試験以外(授業内の課題・参加度・出席態度等)		40						
その他								
教科書								
チョヒチョル ひとめでわかる韓国語のきほんのきほん 高橋書店								
参考書								

専門学校東京国際ビジネスカレッジ							
コース		キャリアデザインコース					
学年		2年					
科目名		卒業演習Ⅰ					
開講期	2025年度	開講学期	前期	単位	2	授業回数	15
担当教員	沢井裕						
到達目標							
卒業研究の意味と目的を理解し、事実に基づいた信頼性のある情報の収集方法を知り、収集した情報を精査し、論拠に基づく文章構成ができるようになる。							
講義概要							
本講義では卒業研究シナリオ作成に向け、研究テーマ選定のためのアプローチ方法やシナリオ作成にあたっての基本ルールについて説明し、実際の文章作成を通し書き方の基本を身につける。講義の中ではこちらより選定したテーマに沿って論文作成の基本に則り文章を作成し、書き方の型を身につける。							
学修成果							
シナリオ作成に必要な基本ルールを身につけ今後の大学や企業における論文や資料作成ができるスキルを身につける。							
事前学習							
講師が指定する宿題を事前学習としておこなっておく。60分程度							
事後学習							
講師が指定場所にアップした講義スライドや講義資料を見直し復習しておく。60分程度							
授業計画							
第1回	卒業研究とは何か　テーマの探し方、情報収集の仕方と実践練習						
第2回	卒業研究の基本事項① 引用文の扱い方、文体、内容						
第3回	卒業研究課題設定の基本事項② 研究背景、目的、文章構成の方法						
第4回	卒業研究課題設定の基本事項③ 研究の進め方、展開方法						
第5回	前回学習内容の復習 題材別研究テーマ設定「好きなこと1」						
第6回	前回学習内容の復習 題材別研究テーマ設定「好きなこと2」						
第7回	前回学習内容の復習 題材別研究テーマ設定「好きなこと3」						
第8回	前回学習内容の復習 題材別研究テーマ設定「ニュース1」						
第9回	前回学習内容の復習 題材別研究テーマ設定「ニュース2」						
第10回	前回学習内容の復習 題材別研究テーマ設定「ニュース3」						
第11回	前回学習内容の復習 題材別研究テーマ設定「講義内容1」						
第12回	前回学習内容の復習 題材別研究テーマ設定「講義内容2」						
第13回	前回学習内容の復習 題材別研究テーマ設定「講義内容3」						
第14回	卒業研究課題作成の基本事項確認 テーマの決定						
第15回	定期試験						
成績評価の方法							
区分		割合(%)	内容				
定期試験		70					
期試験以外(授業内の課題・参加度・出席態度等)		30					
その他		0					
教科書							
教科書配布せず適宜講義資料を配布しながら授業を行う							
参考書							
セミナー講師の教科書(著者:立石剛、出版社:かんき出版)							

専門学校東京国際ビジネスカレッジ							
コース		キャリアデザインコース					
学年		2年					
科目名		卒業演習Ⅱ					
開講期	2025年度	開講学期	後期	単位	2	授業回数	15
担当教員	沢井裕						
到達目標							
セミナーシナリオを仕上げ、提出する。自らが選定したテーマについて、事実に基づいた客観的情報を基に多角的な観点からセミナー展開し、結論につなげる。							
講義概要							
本講義では個人が決めた卒業研究のテーマに基づき、必要な情報を収集し、オリジナルセミナー開催のためのシナリオを執筆する。講義の中では、テーマ研究に必要な情報収集の方法や、読む人を納得させるために必要な論拠に基づく論理展開の方法や必要なアプローチについて学習し、シナリオ作成に活かす。							
学修成果							
自らが決めた一つのテーマについて追及することを通し、集中力、継続力、忍耐力を身につける。セミナーシナリオの完成により自分を他者に伝えるための型を手に入れることができる。							
事前学習							
講師が指定する宿題を事前学習としておこなっておく。60分程度							
事後学習							
講師が指定場所にアップした講義スライドや講義資料を見直し復習しておく。60分程度							
授業計画							
第1回	卒業研究テーマの確認と諸注意 スケジュールの確認・シナリオ作成						
第2回	セミナーシナリオ作成のための情報収集と作成①						
第3回	セミナーシナリオ作成のための情報収集と作成②						
第4回	セミナーシナリオ作成のための情報収集と作成③						
第5回	初稿提出及び全体での講評会						
第6回	セミナーシナリオ作成のための情報収集と校正①						
第7回	セミナーシナリオ作成のための情報収集と校正②						
第8回	セミナーシナリオ作成のための情報収集と校正③						
第9回	セミナーシナリオ作成のための情報収集と校正④						
第10回	セミナーシナリオ作成のための情報収集と校正⑤						
第11回	セミナーシナリオの全体での講評会						
第12回	セミナーシナリオの最終校正①						
第13回	セミナーシナリオの最終校正②						
第14回	セミナーシナリオ最終稿提出						
第15回	定期試験						
成績評価の方法							
区分		割合(%)	内容				
定期試験		70					
期試験以外(授業内の課題・参加度・出席態度等)		30					
その他		0					
教科書							
教科書配布せず適宜講義資料を配布しながら授業を行う							
参考書							
セミナー講師の教科書(著者:立石剛、出版社:かんき出版)							

専門学校東京国際ビジネスカレッジ							
コース		キャリアデザインコース					
学年		2年					
科目名		卒業演習Ⅲ					
開講期	2025年度	開講学期	後期	単位	2	授業回数	15
担当教員	沢井裕						
到達目標							
高いプレゼンテーション力・企画書作成・パワーポイント作成・ニーズ調査等のアンケートなど、社会人として必要なコミュニケーション力、企画力、課題解決力などビジネス知識を実践に生かせるスキルの獲得を目指す。							
講義概要							
本講義では作成したセミナーシナリオを基に、卒業研究発表のためのスライドの作成及びプレゼンテーション準備を行う。「セミナー講師デビュー」をテーマにこの2年間の学びを活かし、人の心を動かし行動につなげるミニセミナーを実施し、専門学校の学びの集大成として一つの形にまとめる。							
学修成果							
講師としてのセミナー実施という目標に向かい、高いプレゼンテーション力・ターゲットに合わせた論理展開など、社会人として必要なコミュニケーション力、企画力、課題解決力などビジネス知識の実践を目指す。							
事前学習							
講師が指定する宿題を事前学習としておこなっておく。60分程度							
事後学習							
講師が指定場所にアップした講義スライドや講義資料を見直し復習しておく。60分程度							
授業計画							
第1回	オリエンテーション 卒業研究発表会概要説明						
第2回	卒業研究発表のための個別作業 スライド作成上の注意①						
第3回	卒業研究発表のための個別作業 スライド作成上の注意②						
第4回	卒業研究発表会中間発表会						
第5回	卒業研究発表のための個別作業 発表スライド構成概要の提出						
第6回	卒業研究発表のための個別作業 発表スライド構成概要の見直し						
第7回	卒業研究発表のための個別作業 発表スライド構成概要最終提出						
第8回	卒業研究発表のための個別作業 発表準備①（プレゼンスキル：発話とジェスチャー）						
第9回	卒業研究発表のための個別作業 発表準備②（プレゼンスキル：発話とジェスチャー）						
第10回	卒業研究発表のための個別作業 発表準備③（プレゼンスキル：発話とジェスチャー）						
第11回	卒業研究発表スライド完成 卒業研究発表スライド初稿提出						
第12回	卒業研究発表会予行演習① 卒業研究発表スライドの内容見直しと校正						
第13回	卒業研究発表スライド作成 卒業研究発表スライドの最終校正						
第14回	卒業研究発表会　卒業研究発表の評価とフィードバック						
第15回	定期試験						
成績評価の方法							
区分		割合(%)	内容				
定期試験		70					
期試験以外(授業内の課題・参加度・出席態度等)		30					
その他		0					
教科書							
教科書配布せず適宜講義資料を配布しながら授業を行う							
参考書							
セミナー講師の教科書(著者:立石剛、出版社:かんき出版)							

専門学校東京国際ビジネスカレッジ							
コース		キャリアデザインコース					
学年		2年					
科目名		組織論 I					
開講期	2025年度	開講学期	前期	単位	2	授業回数	15
担当教員	佐藤由佳						
到達目標							
組織論の歴史の概要を学び、組織がどのように発展してきたのかを理解する。そのうえで、組織に自分が所属した際にどのように組織の一員として貢献し活躍できるようになるのかを考える。組織とは何かを言語化できるようになる。							
講義概要							
組織論の主要な理論や概念を通じて、組織の成り立ちや組織を構成するものを学ぶ。組織何のためにできていて、何のために存在するのか、その組織のなかでどのような活躍をすることを自分が求めているのか、又は求められているのかを考え、実践できるようにイメージをしていく。							
学修成果							
組織の歴史からどのような組織が自分に合い、自分の目指す組織はどのようなものなのか、就職活動の際に自分のキャリアと組織の関係を理解し、自分の納得できる組織に属し、活躍していく組織人としてのイメージができるようになる。							
事前学習							
前回講義の復習（配布資料の確認）							
事後学習							
小テストを振り返り、学んだ内容の重要なポイントを理解する。							
授業計画							
第1回	自己紹介、イントロダクション、組織とは						
第2回	組織論歴史概要①(テイラー、ファヨール)						
第3回	組織論歴史概要②(ウェーバー、官僚制、)、企業の事例に学ぶ						
第4回	組織論歴史概要③(メイヨー、バーナード、サイモン)						
第5回	組織論歴史概要④(コンティンジェンシー理論)、組織の権力の視点から考える						
第6回	オープンシステムとしての組織、クローズシステムとしての組織						
第7回	マクロ組織論とミクロ組織論の概要、どんなことを勉強するのか						
第8回	組織社会化、組織コミットメント、アイデンティティ						
第9回	組織社会化、新入社員の組織社会化、						
第10回	組織文化						
第11回	モチベーション①						
第12回	モチベーション②						
第13回	モチベーション③						
第14回	前期試験前総復習						
第15回	前期試験						
成績評価の方法							
区分		割合(%)	内容				
定期試験		60					
期試験以外(授業内の課題・参加度・出席態度等)		30					
その他		10	発表など				
教科書							
配布資料を使用							
参考書							
配布資料を使用							

専門学校東京国際ビジネスカレッジ							
コース		キャリアデザインコース					
学年		2年					
科目名		組織論Ⅱ					
開講期	2025年度	開講学期	後期	単位	2	授業回数	15
担当教員	佐藤由佳						
到達目標							
組織論の歴史の概要を学び、組織がどのように発展してきたのかを理解する。そのうえで、組織に自分が所属した際にどのように組織の一員として貢献し活躍できるようになるのかを考える。組織論の集大成として組織論で学んだ内容を用いて自分がこれから属する集団でどのような貢献をしていきたいかを発表できる。							
講義概要							
組織論の主要な理論や概念を通じて、組織のなかで人がどのように成長するのか、組織体制はどのように構成されているかを学ぶ。組織のなかでどのような活躍をすることを自分が求めているのか、又は求められているのかを考え、実践できるようにイメージを深めていく。							
学修成果							
組織の歴史からどのような組織が自分に合い、自分の目指す組織はどのようなものなのか、就職活動の際に自分のキャリアと組織の関係を理解し、自分の納得できる組織に属し、活躍していく組織人としてのイメージができるようになる。							
事前学習							
前回講義の復習（配布資料の確認）							
事後学習							
小テストを振り返り、学んだ内容の重要なポイントを理解する。							
授業計画							
第1回	イントロダクション、組織Ⅱの概要						
第2回	リーダーシップ①						
第3回	リーダーシップ②						
第4回	リーダーシップとモチベーションの関係						
第5回	キャリアとは、組織のなかでの個人の成長						
第6回	組織学習①						
第7回	組織学習②						
第8回	組織構造論①						
第9回	組織構造論②						
第10回	サステイナブル経営						
第11回	人的資源管理論、労働法規						
第12回	組織論で学んだことを活かして自分の入りたい会社・学校などの組織でどのような行動で貢献していきたいかやリーダーシップなど、授業で学んだ理論を用いて発表						
第13回	組織論で学んだことを活かして自分の入りたい会社・学校などの組織でどのような行動で貢献していきたいかやリーダーシップなど、授業で学んだ理論を用いて発表						
第14回	後期試験前総復習						
第15回	後期試験						
成績評価の方法							
区分		割合(%)	内容				
定期試験		60					
期試験以外(授業内の課題・参加度・出席態度等)		30					
その他		10	発表など				
教科書							
配布資料を使用							
参考書							
配布資料を使用							

専門学校東京国際ビジネスカレッジ							
コース		キャリアデザインコース					
学年		2年					
科目名		消費者行動論					
開講期	2025年度	開講学期	後期	単位	2	授業回数	15
担当教員	沢井裕						
到達目標							
人間心理に基づいた購買行動を理解することで、今後の仕事における顧客心理に基づいた応対や企画、普段の買い物や自身の学習計画の履行等で広く活用していくことを目標とする。							
講義概要							
人間の心理面に焦点をあて、市場で製品が売れる課程を理解していく。特に、その課程において企業や店舗がどのように関わっているのか、人が選択する際の「くせ」(不合理)を伝統経済学やマーケティング、行動経済学等幅広い視点から理解できる内容とする。							
学修成果							
1年次に学習したマーケティングや経済学、ホスピタリティを活用することで獲得した知識を再学習することで実践に活かすイメージを定着させる。							
事前学習							
講師が指定する宿題を事前学習としておこなっておく。60分程度							
事後学習							
講師が指定場所にアップした講義スライドや講義資料を見直し復習しておく。60分程度							
授業計画							
第1回	マーケティング基礎講義:1.0-4.0マーケティング比較						
第2回	ホスピタリティ基礎講義:顧客満足(インサイトを知る)						
第3回	経済学基礎講義:機会費用、希少性、代替え財等法則						
第4回	行動経済学講義①:伝統経済学の限界と違い						
第5回	行動経済学講義②:ヒューリスティックとシステムティック						
第6回	行動経済学講義③:プロスペクト理論とナッジ理論						
第7回	消費者行動①購買意思決定プロセスと事例紹介						
第8回	消費者行動②カラーマーケティングと事例紹介						
第9回	消費者行動③男女別マーケティングと事例紹介						
第10回	消費者行動④ニューロンマーケティングと事例紹介						
第11回	最新消費者行動①AIDMAとAISASの購買行動						
第12回	最新消費者行動②ECマーケティングとショールーミング						
第13回	最新消費者行動③2026年における消費者行動予測						
第14回	イノベーションと流行の関係、流行を作ろう						
第15回	期末試験						
成績評価の方法							
区分		割合(%)	内容				
定期試験		70					
期試験以外(授業内の課題・参加度・出席態度等)		30					
その他		0					
教科書							
教科書配布せず適宜講義資料を配布しながら授業を行う							
参考書							
消費者行動論(田中洋、出版社:中央経済社)							

専門学校東京国際ビジネスカレッジ							
コース		キャリアデザインコース					
学年		1年					
科目名		社会常識Ⅲ					
開講期	2025年度	開講学期	前期	単位	2	授業回数	15
担当教員	沢井裕						
到達目標							
異文化理解に必要な体系的知識を身につける。自文化を理解し、好意的に捉える。異文化への寛容な態度を持ち、円滑な関係を築ける。多くの異なる人々へ配慮するためのユニバーサルマナーの基礎的な理解ができる。							
講義概要							
本講義の目的は2つある。1つは異文化理解を体系的に学習し、円滑な異文化理解に必要な自文化の理解、異文化への寛容な態度を身につけることである。もう1つは「ユニバーサルマナー」概要を学び、多様性を求められる現代において人々への配慮ある適切な行動を身につける基礎を学習することである。							
学修成果							
異文化への寛容な態度を持ち、多様な価値観を持つ人に配慮した対応ができる。							
事前学習							
講師が指定する宿題を事前学習としておこなっておく。60分程度							
事後学習							
講師が指定場所にアップした講義スライドや講義資料を見直し復習しておく。60分程度							
授業計画							
第1回	異文化理解①異文化定義、世界と日本の多様化現状						
第2回	異文化理解②トータルカルチャーとサブカルチャー						
第3回	異文化理解③異文化疑似体験ワーク「バーンガ」						
第4回	異文化理解④異文化の認識ワーク「レヌカの学び」						
第5回	異文化理解⑤異文化適応「U字曲線とカルチャーショック」						
第6回	異文化理解⑥自己理解「ジョハリの窓、自己意識チェック」						
第7回	異文化理解⑦非言語コミュニケーション「異文化動作トレーニング」						
第8回	異文化理解⑧アサーティブコミュニケーション						
第9回	ユニバーサルマナー①日本を取り巻く環境と概要理解						
第10回	ユニバーサルマナー②多様性理解「もしも世界が100人の村だったら」						
第11回	課外活動:街のユニバーサルマナー、デザイン調査						
第12回	ユニバーサルマナー③街のユニバーサルデザイン						
第13回	ユニバーサルマナー④企業によるユニバーサル実践						
第14回	ユニバーサルマナー⑤関係法律の理解と街の取り組み						
第15回	定期試験						
成績評価の方法							
区分		割合(%)	内容				
定期試験		70					
期試験以外(授業内の課題・参加度・出席態度等)		30					
その他		0					
教科書							
教科書配布せず適宜講義資料を配布しながら授業を行う							
参考書							
接客・接遇のための 改訂2版 ユニバーサルサービス基本テキスト(著者:紀 薫子、出版社:日本能率協会マネジメントセンター)							

専門学校東京国際ビジネスカレッジ							
コース		キャリアデザインコース					
学年		2年					
科目名		社会常識IV					
開講期	2025年度	開講学期	後期	単位	2	授業回数	15
担当教員	沢井裕						
到達目標							
冠婚葬祭に参加する際にマナーに沿った行動ができる。冠婚葬祭の専門知識の習得とそれに関わる職業の理解。冠婚葬祭の背景にある日本文化を理解し、他者に伝えられるようになる。							
講義概要							
本講義では、学生が社会人として身につけておくべき冠婚葬祭における知識及びスキルの習得、日本文化の理解を目的とする。講義を通じて、日本の文化やしきたり、習慣の由来や意味について理解した上で実際の場面で行動する際に学習した内容を活かせるようにする。							
学修成果							
冠婚葬祭に参加の際にマナーを守り行動できる。冠婚葬祭に関わる仕事の知識を得て、将来の進路の選択肢の幅を広げる。日本の文化や伝統行事の意味について、他国の人に説明できる。							
事前学習							
講師が指定する宿題を事前学習としておこなっておく。60分程度							
事後学習							
講師が指定場所にアップした講義スライドや講義資料を見直し復習しておく。60分程度							
授業計画							
第1回	冠婚葬祭とは 成り立ちや歴史、文化的背景の理解						
第2回	冠婚葬祭の「祭」 日本のお祭りについて調べよう						
第3回	冠婚葬祭の「祭」 日本のお祭り発表準備(グループワーク)						
第4回	冠婚葬祭の「祭」 日本のお祭り発表(プレゼンテーション)						
第5回	冠婚葬祭に関わるマナー① 御見舞・贈り物のマナー						
第6回	冠婚葬祭に関わるマナー② 弔事の際のマナー						
第7回	冠婚葬祭に関わるマナー③ 結婚式の際のマナー						
第8回	冠婚葬祭に関わるマナー③ 結婚式の際のマナー						
第9回	冠婚葬祭に関わる仕事① 葬儀に関わる仕事						
第10回	冠婚葬祭に関わる仕事② 結婚に関わる仕事						
第11回	冠婚葬祭に関わる仕事③ 課外活動:式場体験						
第12回	冠婚葬祭に関わる仕事④ ウェディングプランを立ててみよう						
第13回	冠婚葬祭に関わる仕事⑤ ウェディングプランの発表						
第14回	世界の冠婚葬祭について調べよう 比較プレゼン発表						
第15回	定期試験						
成績評価の方法							
区分		割合(%)	内容				
定期試験		70					
期試験以外(授業内の課題・参加度・出席態度等)		30					
その他		0					
教科書							
教科書配布せず適宜講義資料を配布しながら授業を行う							
参考書							
きちんと知っておきたい大人の冠婚葬祭マナー新事典(岩下宣子監修、朝日新聞出版)							

専門学校東京国際ビジネスカレッジ

コース		キャリアデザインコース						
学年		2年						
科目名		時事研究Ⅲ						
開講期	2025年度	開講学期	前期	単位	2	授業回数	15	
担当教員	皆川由香							
到達目標								
・時事的な事象を多面的に取れえ信頼性のある情報の収集を得る力を養う。 ・情報を整理し、背景、原因、影響を分析、判断する力を養う。 ・他者との協働の中、課題研究を通し、視野を広げ吸収、統合の力を付けると共に、適切に発表、表現できる力を養う。								
講義概要								
・本講座では、現代社会で起きている国内外の時事問題を多角的に研究・考察することを目的とし、政治、経済、環境、国際関係、科学技術、文化、社会など幅広い分野のニュースを取り上げ、その背景や構造、影響について資料を用いて分析する。講義では、新聞や報道記事、公的データなどを読み解く力を養うとともに、グループディスカッションやプレゼンテーションを通じて、自らの意見を論理的に整理し発信する力を高める。現代社会に対する理解を深め、複雑な課題に対して主体的に考える態度を育成することを重視する。								
学修成果								
・探求力＝独自で時事問題を掘り下げ背景、原因、問題点を説明でき知識、理解力 ・分析力＝複数の資料、情報を構造的に分析する判断する力 ・協働、表現力＝適切な発表、わかりやすく伝える力、聞く姿勢（傾聴）力 ・成長力＝すべての学習を通し、主体的に取り組む力								
事前学習								
・日頃から社会の出来事、ニュースや新聞(アプリ)をチェックし興味、関心を持つ。 ・「なぜ」「どうして」との視点を大事にし、考える習慣をつける。 ・課題に対し調査リテラシーの習得。								
事後学習								
・何を学び、どのような観点で捉えることができたか自己成長、改善点を記述。 ・他者からの学びをまとめ記録。 ・継続的な探求姿勢を保ち、新たな情報を探求し、学び続ける。								
授業計画								
第1回	ガイダンス　時事研究講義の目的・方法・意義について　グループディスカッションの目的・意義・ルール確認							
第2回	政治　民衆主義1　歴史的背景、影響							
第3回	政治　民衆主義1　ポピュリズムの理解　世論の検証、力							
第4回	政治　民衆主義1　世界の民衆主義・民衆政治の検証、分析グループディスカッション実施(世界との比較)							
第5回	政治　民衆主義2　日本の選挙の仕組み　選挙への参加意義							
第6回	政治　民衆主義2　政治参加の意義グループディスカッション双方向フィードバック実施							
第7回	環境　災害1　災害を知る(映像放映)　災害の恐さ、災害の力							
第8回	環境　災害2　自然災害と人為災害を分析　グループディスカッション実施							
第9回	環境　災害3　災害の原因・要因を探る　避難確認　災害時の対応							
第10回	環境　災害4　未来への被害想定の見直し　グループディスカッション双方向フィードバック実施(世界の取組)							
第11回	環境　地球温暖化1　地球温暖化背景、歴史　課題(問題)　警鐘　映像から見る温暖化							
第12回	環境　地球温暖化2　地球環境問題＝オゾン層破壊							
第13回	環境　地球温暖化3　地球環境問題＝森林と砂漠化現象							
第14回	環境　地球温暖化4　地球環境問題＝生物多様性の今							
第15回	環境　地球温暖化5　未来への目標、課題、行動・持続可能な開発目標(SDGs)グループディスカッション実施(世界規模で活動・比較)							
成績評価の方法								
区分		割合(%)	内容					
定期試験		50						
期試験以外(授業内の課題・参加度・出席態度等)		40	提出課題(レポート、振り返りシート) 授業態度					
その他		20	グループディスカッション(参加度、主体的な態度、対応)					
教科書								
参考書								
・日本経済新聞・朝日新聞電子版・NHKニュース特番 ・ニュース検定(公式テキスト&問題集)2025「毎日新聞社出版」 ・ライブ！公共2024「帝国出版社」・時事用語「月間新聞ダイジェスト」								

専門学校東京国際ビジネスカレッジ

コース		キャリアデザインコース					
学年		2年					
科目名		時事研究Ⅳ					
開講期	2025年度	開講学期	後期	単位	2	授業回数	15
担当教員	皆川由香						
到達目標							
・時事的な事象を多面的に取れえ信頼性のある情報の収集を得る力を養う。 ・情報を整理し、背景、原因、影響を分析、判断する力を養う。 ・他者との協働の中、課題研究を通し、視野を広げ吸収、統合の力を付けると共に、適切に発表、表現できる力を養う。							
講義概要							
・本講座では、現代社会で起きている国内外の時事問題を多角的に研究・考察することを目的とし、政治、経済、環境、国際関係、科学技術、文化、社会など幅広い分野のニュースを取り上げ、その背景や構造、影響について資料を用いて分析する。講義では、新聞や報道記事、公的データなどを読み解く力を養うとともに、グループディスカッションやプレゼンテーションを通じて、自らの意見を論理的に整理し発信する力を高める。現代社会に対する理解を深め、複雑な課題に対して主体的に考える態度を育成することを重視する。							
学修成果							
・探求力＝独自で時事問題を掘り下げ背景、原因、問題点を説明できる知識、理解力 ・分析力＝複数の資料、情報を構造的に分析する判断する力 ・協働、表現力＝適切な発表、わかりやすく伝える力、聞く姿勢（傾聴）力 ・成長力＝すべての学習を通し、主体的に取組む力							
事前学習							
・日頃から社会の出来事、ニュースや新聞(アプリ)をチェックし興味、関心を持つ。 ・「なぜ」「どうして」との視点を大事にし、考える習慣をつける。 ・課題に対し調査リテラシーの習得。							
事後学習							
・何を学び、どのような観点で捉えることができたか自己成長、改善点を記述。 ・他者からの学びをまとめ記録。 ・継続的な探求姿勢を保ち、新たな情報を探求し、学び続ける。							
授業計画							
第1回	ガイダンス 時事研究講義の目的・方法・意義について グループディスカッションの目的・意義・ルール確認						
第2回	政治 民衆主義1 歴史的背景、影響						
第3回	政治 民衆主義1 ポピュリズムの理解 世論の検証、力						
第4回	政治 民衆主義1 世界の民衆主義・民衆政治の検証、分析グループディスカッション実施(世界との比較)						
第5回	政治 民衆主義2 日本の選挙の仕組み 選挙への参加意義						
第6回	政治 民衆主義2 政治参加の意義グループディスカッション双方向フィードバック実施						
第7回	環境 災害1 災害を知る(映像放映) 災害の恐さ、災害の力						
第8回	環境 災害2 自然災害と人為災害を分析 グループディスカッション実施						
第9回	環境 災害3 災害の原因・要因を探る 避難確認 災害時の対応						
第10回	環境 災害4 未来への被害想定の見直し グループディスカッション双方向フィードバック実施(世界の取組)						
第11回	環境 地球温暖化1 地球温暖化背景、歴史 課題(問題) 警鐘 映像から見る温暖化						
第12回	環境 地球温暖化2 地球環境問題＝オゾン層破壊						
第13回	環境 地球温暖化3 地球環境問題＝森林と砂漠化現象						
第14回	環境 地球温暖化4 地球環境問題＝生物多様性の今						
第15回	環境 地球温暖化5 未来への目標、課題、行動・持続可能な開発目標(SDGs)グループディスカッション実施(世界規模で活動・比較)						
成績評価の方法							
区分		割合(%)	内容				
定期試験		50					
第試験以外(授業内の課題・参加度・出席態度等)		40	提出課題(レポート、振り返りシート) 授業態度				
その他		20	グループディスカッション(参加度、主体的な態度、対応)				
教科書							
参考書							
・日本経済新聞・朝日新聞電子版・NHKニュース特番 ・ニュース検定(公式テキスト&問題集)2025「毎日新聞社出版」 ・ライブ！公共2024「帝国出版社」・時事用語「月間新聞ダイジェスト」							

専門学校東京国際ビジネスカレッジ							
コース		キャリアデザインコース					
学年		2年					
科目名		企業リサーチ I					
開講期	2025年度	開講学期	前期	単位	2	授業回数	15
担当教員	沢井裕						
到達目標							
企業の行っているブランディング活動を理解することができ、それを自身に置き換えブランドと定義づけをし、自己理解を深め、今後の自己成長につなげる。							
講義概要							
本講義の目的は2つある。まず、ビジネス学習として企業におけるブランドの定義や成り立ち及びブランディング活動の理解をすること。その理解を通じて、自信をブランドに置き換え自己分析をし、パーソナルブランドを確立することの2つを目的とする。							
学修成果							
企業活動としてのブランディングを理解することができる。自身をブランドに置き換え価値あるものとして自己肯定感を高められる。自身の今後の活動に活かすことができる。							
事前学習							
講師が指定する宿題を事前学習としておこなっておく。60分程度							
事後学習							
講師が指定場所にアップした講義スライドや講義資料を見直し復習しておく。60分程度							
授業計画							
第1回	ブランドとは①:ブランド概念の導入と定義づけ						
第2回	ブランドとは②:ブランディングとマーケティングの違い						
第3回	ブランドとは③:ブランド価値とブランドメリット						
第4回	ブランディング①ブランドの旗を立てる(何を売りにするか)						
第5回	ブランディング②環境を知る(PEST分析)						
第6回	ブランディング③3C分析(自社分析、資産を知る)						
第7回	ブランディング④3C分析(顧客分析、ターゲティング、ペルソナ分析)						
第8回	ブランディング⑤3C分析(他社分析、ポジショニングマップ作成)						
第9回	ブランディング⑥ブランドアイデンティティの設定						
第10回	ブランディング⑦ロゴとブランドカラー、タグライン設定						
第11回	ブランディング⑧ブランドネーミングとプライシング						
第12回	ブランディング⑨ブランド管理(アウターブランディングとインナーブランディング)						
第13回	ブランディング⑩ブランド管理(ブランドメンテナンス)						
第14回	発表:パーソナルブランディング宣言						
第15回	期末試験						
成績評価の方法							
区分		割合(%)	内容				
定期試験		70					
期試験以外(授業内の課題・参加度・出席態度等)		30					
その他		0					
教科書							
教科書配布せず適宜講義資料を配布しながら授業を行う							
参考書							
ブランディングの教科書:ブランディングの理論と実践がこれ1冊でわかる(羽田康祐、出版社:NextPublishing Authors Press)							

専門学校東京国際ビジネスカレッジ							
コース		キャリアデザインコース					
学年		2年					
科目名		接客外国語Ⅰ					
開講期	2025年度	開講学期	前期	単位	2	授業回数	15
担当教員	山北麻美						
到達目標							
観光英語検定3級の合格を第一の目標とする。また、観光英語表現を身につけることで、空港・ホテル・レストラン・観光場面における適切な英語対応をすることができ、観光業界をはじめとするサービス業界で活躍ができる。							
講義概要							
観光英語検定3級の合格を目指し英語学習をする。目標を明確にすることで、英語の基礎学力をアップさせ、特に観光場面における英語表現をすることができるようになる。							
学修成果							
空港やホテル、レストラン、観光場面における適切な英語表現ができる。それによりサービス業界において外国人客相手に円滑なコミュニケーションを取れる。							
事前学習							
講師が指定する宿題を事前学習としておこなっておく。60分程度							
事後学習							
講師が指定場所にアップした講義スライドや講義資料を見直し復習しておく。60分程度							
授業計画							
第1回	講義概要：観光英語検定3級の合格基準の確認、「サービス業界」における仕事イメージの形成						
第2回	ブレースメントテスト(観光英語検定3級過去問題とFB)						
第3回	英語表現①(空港における対話場面)						
第4回	英語表現②(ホテルにおける対話場面)						
第5回	英語表現③(レストランにおける対話場面)						
第6回	英語表現④(観光における対話場面)						
第7回	英語表現⑤(ショッピングにおける対話場面)						
第8回	英語表現⑥(交通機関における対話場面)						
第9回	英語対応表現①(問題と苦情処理)						
第10回	英語対応表現②(謝罪と依頼)						
第11回	英語対応表現③(敬語表現)						
第12回	観光英語検定3級リスニング問題ポイント対策						
第13回	観光英語検定3級筆記問題ポイント対策						
第14回	総復習テスト(観光英語検定3級過去問題とFB)						
第15回	定期試験						
成績評価の方法							
区分		割合(%)	内容				
定期試験		70					
期試験以外(授業内の課題・参加度・出席態度等)		30					
その他		0					
教科書							
ベーシック観光英語 English for Tourism -Basic-(著:観光英検センター、出版社:三修社)							
参考書							

専門学校東京国際ビジネスカレッジ							
コース		キャリアデザインコース					
学年		2年					
科目名		接客外国語Ⅱ					
開講期	2025年度	開講学期	後期	単位	2	授業回数	15
担当教員	山北麻美						
到達目標							
接客に適した人材とは何かを目標として、マナーや外国語等を複合的に学習し、実践レベルでの活用ができる人材育成することが目標となっている。							
講義概要							
学習したビジネス知識を実践で活用することでビジネス学習のつながり、学習意欲の向上、社会人としてのイメージ形成をすることが狙いである。テーマを「接客業」に焦点を当てて、マナー、外国語、コミュニケーションスキル等を高める内容となっている。							
学修成果							
ホスピタリティー、ビジネスマナー、場面に応じたコミュニケーション力、外国語など複合的なビジネス知識及びスキルの向上、仕事における自身のキャリアイメージを持てる。							
事前学習							
講師が指定する宿題を事前学習としておこなっておく。60分程度							
事後学習							
講師が指定場所にアップした講義スライドや講義資料を見直し復習しておく。60分程度							
授業計画							
第1回	ホスピタリティマインド①おもてなしの心とは						
第2回	ホスピタリティマインド②WINWINの関係を作るとは						
第3回	課外活動①:企業人交流(ホテル企業社員の講話)						
第4回	業界分析:接客業界の現状と求められる人材とは						
第5回	接客マナー①接客時に適切な立ち振る舞いと言葉遣い						
第6回	接客マナー②レストラン応対時の流れ及びマナー						
第7回	課外活動②:高級ホテルでのランチビュッフェ体験						
第8回	接客外国語①英語による接客会話及び文化習得						
第9回	接客外国語②中国語による接客外国語及び文化習得						
第10回	接客外国語③ベトナム語による接客外国語及び文化習得						
第11回	海外活動③:多国籍学生との外国語交流実践						
第12回	場面別ロールプレイング①基本対応と良い印象の与え方						
第13回	場面別ロールプレイング②クレーム対応について						
第14回	接客コンテスト						
第15回	定期試験						
成績評価の方法							
区分		割合(%)	内容				
定期試験		70					
期試験以外(授業内の課題・参加度・出席態度等)		30					
その他		0					
教科書							
教科書配布せず適宜講義資料を配布しながら授業を行う							
参考書							

専門学校東京国際ビジネスカレッジ							
コース		キャリアデザインコース					
学年		2年					
科目名		就職ケーススタディⅠ					
開講期	2025年度	開講学期	前期	単位	2	授業回数	15
担当教員	谷口幸広						
到達目標							
希望する企業や職種を目指し、(1)就職活動においてエントリーシートや面接で「企業から質問されやすい事柄」について回答できるようになる。(2)就職活動の一連の流れを把握し、自立的に活動できるようになる。							
講義概要							
社会人・ビジネスパーソンとして活躍する機会を得るために必要な「就職活動」。その活動に関する知識習得と、「希望する企業」や「職種」を想定したシミュレーションを体験し、本番に備える。							
学修成果							
実際の就職活動で踏まがちな(1)「自己」「商品サービス」「企業・業界」の分析(2)(1)をふまえた「自己PR」「ガクチカ」「志望動機」の明確化・可視化。							
事前学習							
①1年次のキャリアデザイン論の講義内容を踏まえた、キャリアの棚卸し(アップデート)②希望する企業や職種についての情報収集							
事後学習							
演習において助言された事柄についてのブラッシュアップ							
授業計画							
第1回	(1)ガイダンス (2)1年次復習 (3)現状把握と進路の確認						
第2回	(1)復習 (2)現状把握と進路確認 (3)自己PR作成演習①						
第3回	(1)復習 (2)就職市場の動向 (3)自己PR作成演習②／強みと弱み						
第4回	(1)復習 (2)企業が求める人材 (3)自己PR作成演習③／学業で力を入れたこと(ガクチカ)・学業以外で頑張ったこと						
第5回	(1)復習 (2)働くとは (3)「働く」を踏まえた自己PR作成演習①						
第6回	(1)復習 (2)仕事と作業の違い (3)「働く」を自己PR作成演習②						
第7回	(1)復習 (2)企業とは (3)「ガクチカ」の基となる科目の情報収集①						
第8回	(1)復習 (2)適職・天職とは (3)「ガクチカ」の基となる科目の情報収集②(4)(3)を踏まえたガクチカ作成演習①						
第9回	(1)復習 (2)ガクチカ作成演習② (3)職種をふまえたガクチカ作成演習①						
第10回	(1)復習 (2)職種を踏まえたガクチカ作成演習② (3)履歴書の書き方①						
第11回	(1)復習 (2)「学業以外で頑張ったこと」の作成演習① (3)履歴書の書き方②						
第12回	(1)復習 (2)「学業以外で頑張ったこと」の作成演習② (3)職種を踏まえた「学業以外で頑張ったこと」の作成演習						
第13回	(1)復習 (2)面接練習						
第14回	第1回～第13回の振り返り、要点まとめ、質疑応答						
第15回	期末試験						
成績評価の方法							
区分		割合(%)	内容				
定期試験		70					
期試験以外(授業内の課題・参加度・出席態度等)		30					
その他							
教科書							
教科書は指定せず、適宜、プリント等を配布							
参考書							
関連書籍・Webサイトなどから適宜引用							

専門学校東京国際ビジネスカレッジ							
コース		キャリアデザインコース					
学年		2年					
科目名		就職ケーススタディⅡ					
開講期	2025年度	開講学期	後期	単位	2	授業回数	15
担当教員	谷口 幸広						
到達目標							
希望する企業や職種を目指し、(1)就職活動においてエントリーシートや面接で「企業から質問されやすい事柄」について回答できるようにする。(2)就職活動の一連の流れを把握し、自立的に活動できるようにする。							
講義概要							
「社会人・ビジネスパーソンとして活躍する機会を得るために必要な「就職活動」。その活動に関する知識習得と、「希望する企業」や「職種」を想定したシミュレーションを体験し、本番に備える。							
学修成果							
実際の就職活動で躓きがちな(1)「自己」「商品サービス」「企業・業界」の分析(2)(1)をふまえた「自己PR」「ガクチカ」「志望動機」の明確化・可視化。							
事前学習							
①希望する企業や職種に関する情報収集 ②キャリアの棚卸し							
事後学習							
講義内容や演習をふまえ、活動に必要な事柄のブラッシュアップ							
授業計画							
第1回	(1)前期復習 (2)面接練習②／個別						
第2回	(1)復習 (2)面接練習③／集団めんせつ						
第3回	(1)復習 (2)面接練習④／集団面接						
第4回	(1)復習 (2)企業・業界研究 (3)求人票の見方①						
第5回	(1)復習 (2)商品・サービス研究 (3)求人票の見方②						
第6回	(1)復習 (2)特定企業を想定した志望動機作成演習①						
第7回	(1)復習 (2)特定企業を想定した志望動機作成演習②						
第8回	(1)復習 (2)働くうえで必要となる法律知識①						
第9回	(1)復習 (2)働くうえで必要となる法律知識②						
第10回	(1)復習 (2)ケーススタディ:職場での立ち居振る舞い①						
第11回	(1)復習 (2)ケーススタディ:職場での立ち居振る舞い②						
第12回	(1)復習 (2)希望する企業を踏まえた面接練習①						
第13回	(1)復習 (2)希望する企業を踏まえた面接練習②						
第14回	第1回～第13回までの振り返り、要点まとめ、質疑応答						
第15回	期末試験						
成績評価の方法							
区分		割合(%)	内容				
定期試験		70					
期試験以外(授業内の課題・参加度・出席態度等)		30					
その他							
教科書							
教科書は指定せず、適宜、プリント等を配布							
参考書							
関連書籍・Webサイトなどから適宜引用							

専門学校東京国際ビジネスカレッジ							
コース		キャリアデザインコース					
学年		2年					
科目名		課題演習Ⅲ					
開講期	2025年度	開講学期	前期	単位	2	授業回数	15
担当教員 篠崎 誠二							
到達目標							
全経簿記検定3級の合格を第一の目標とする。また、簿記の知識を身につけることにより、会社における金の流れを理解し、事務処理の基礎を習得する。							
講義概要							
1年で履修した簿記の復習と全経簿記検定 3 級合格を目指し、答案練習を中心に理解度を確認する。各単元の復習を通じて小売業における会計制度を修得し、企業における会計処理の基礎を理解する。また、過去の検定試験の問題を中心に単元ごとの集中した学習を通して、理解を深め、修得できるようにする。							
学修成果							
企業の物と金の流れを、簿記の基礎知識を通じて理解し、その必要性を修得する。							
事前学習							
前回講義内容復習							
事後学習							
講義内容の復習							
授業計画							
第1回	オリエンテーション(授業の進め方等)、検定試験の概要について具体的に説明						
第2回	資産・負債・純資産・収益・費用の概念と仕訳についての復習						
第3回	現金・預金の処理と補助簿の記帳						
第4回	商品売買の内容と仕訳・補助簿の記帳						
第5回	その他の収益・費用とその他の債権債務内容と仕訳						
第6回	一時的な会計処理						
第7回	株式の発行に関する会計処理						
第8回	決算手続きと決算整理仕訳						
第9回	精算表の作成						
第10回	問題演習(仕訳①)						
第11回	問題演習(計算問題)						
第12回	問題演習(補助簿)						
第13回	過去問題による答案練習①						
第14回	過去問題による答案練習②						
第15回	期末試験						
成績評価の方法							
区分		割合(%)	内容				
定期試験		60					
期試験以外(授業内の課題・参加度・出席態度等)		40					
その他		0					
教科書							
特に指定せず、1年時に使用したテキスト・問題集・プリント等							
参考書							
特になし							

専門学校東京国際ビジネスカレッジ							
コース		キャリアデザインコース					
学年		2年					
科目名		課題演習Ⅳ					
開講期	2025年度	開講学期	後期	単位	2	授業回数	15
担当教員	篠崎 誠二						
到達目標							
日本情報処理検定試験の「文書デザイン検定」3級合格を目標にします。MicrosoftWordの文書作成方法の範囲を広げ、職場において幅広く活用できる能力を身につける。							
講義概要							
Microsoft Wordの復習をもとに、正確な文章の入力・ビジネス文書の作成に加え、視覚に訴える文書や印刷物の作成能力を身につける。「文書デザイン検定」の過去の出題をもとに、様々な処理方法を学習し、練習問題により修得し活用できるようにする。検定試験同様に、練習問題による答案練習を行う。							
学修成果							
ワープロソフトの基本である、早く正確な文書の入力やビジネス文書の作成だけでなく。オフィスにおいて効果的な文書の作成を身につけることにより、ソフトウェアの活用方法が広がる。							
事前学習							
前回講義内容復習							
事後学習							
講義内容の復習							
授業計画							
第1回	ガイダンス 授業の進め方・検定試験の内容(出題をもとに説明)						
第2回	Microsoft Wordの復習① 文字・記号の入力、フォントの変更、文字の書体						
第3回	Microsoft Wordの復習② 文字の飾り、網かけ、文字の修飾						
第4回	Microsoft Wordの復習③ 図形描画、表の作成と挿入						
第5回	検定試験の書式設定・試験場の注意事項						
第6回	文字の拡大・縮小、図形内の文字入力						
第7回	均等割付、画像の挿入と配置						
第8回	表の挿入と配置						
第9回	文字の加工、図形の加工						
第10回	過去問題による作成練習①						
第11回	過去問題による作成練習②						
第12回	過去問題による作成練習③						
第13回	過去問題による作成練習④						
第14回	過去問題による作成練習⑤						
第15回	期末試験						
成績評価の方法							
区分		割合(%)	内容				
定期試験		60					
期試験以外(授業内の課題・参加度・出席態度等)		40					
その他		0					
教科書							
特になし							
参考書							
特になし							

専門学校東京国際ビジネスカレッジ							
コース		キャリアデザインコース					
学年		2年					
科目名		特別演習Ⅲ					
開講期	2025年度	開講学期	前期	単位	2	授業回数	15
担当教員	沢井裕						
到達目標							
統計学検定4級の合格を第一の目標とする。統計に知識を身に着けることで、収集したデータを活用することができるようになる。具体的には仕事場面においてアンケート調査等の結果分析や予測することができる。							
講義概要							
統計学検定4級の合格を目指し学習をする。目標を明確にすることで、統計に関する基礎学力をアップさせ、データを読み取り、論理的に考える近頃の獲得を目指す。また、ケーススタディを繰り返し、ビジネス場面における活用イメージを持つ。							
学修成果							
統計に関する知識を身に着け、収集したデータを活用できる。ケーススタディより実際のビジネス場面における活用イメージを持つ。							
事前学習							
講師が指定する宿題を事前学習としておこなっておく。60分程度							
事後学習							
講師が指定場所にアップした講義スライドや講義資料を見直し復習しておく。60分程度							
授業計画							
第1回	講義概要:統計学検定4級の合格基準の確認、「データ活用」における仕事イメージの形成						
第2回	ブレースメントテスト(統計学検定4級過去問題とFB)						
第3回	データの種類(質的変数と量的変数)						
第4回	グラフの種類(各グラフ名称と特徴及びグラフ表現)						
第5回	量的変数の要約方法①(度数分布とヒストグラム)						
第6回	量的変数の要約方法②(分布特徴の把握)						
第7回	変数データの分析①(代表値、尺度種類について)						
第8回	変数データの分析②(平均値、分散、標準偏差について)						
第9回	変数データの分析③(相関係数と因果関係について)						
第10回	回帰直線と予測(回帰分析と最小二乗法)						
第11回	確率(事象と確率及びベイズの定理)						
第12回	確率変数と確率分布(正規分布の特徴)						
第13回	統計的な推測(区間推定及び仮説検定)						
第14回	データ収集と実践						
第15回	定期試験						
成績評価の方法							
区分		割合(%)	内容				
定期試験		70					
期試験以外(授業内の課題・参加度・出席態度等)		30					
その他		0					
教科書							
改訂版 日本統計学会公式認定 統計検定4級対応 データの活用(編:日本統計学会、出版社:東京図書)							
参考書							

専門学校東京国際ビジネスカレッジ							
コース		キャリアデザインコース					
学年		2年					
科目名		特別演習Ⅳ					
開講期	2025年度	開講学期	後期	単位	2	授業回数	15
担当教員	沢井裕						
到達目標							
会社で仕事をする際のマーケティング知識の活用、アンケート調査や議論、発表などのコミュニケーション力、スライドや企画書を作るスキル等実践活用を目指す。							
講義概要							
本講義は企業リサーチⅠで学習したブランディングの実践を目的とし、学校のリブランディングをテーマとする。ブランディングを実践する際に使用する3C分析やPEST分析などのマーケティング知識、アンケート作成やインタビュー、企画書作成など実際のブランド作成のイメージができる内容とする。							
学修成果							
具体的にブランディング知識を実践で利用できる。マーケティング講義で学習した3C分析やポジショニングマップなどを使用してターゲット選定等ができる。プレゼンテーション講義で学習した効果的な提案ができる。							
事前学習							
講師が指定する宿題を事前学習としておこなっておく。60分程度							
事後学習							
講師が指定場所にアップした講義スライドや講義資料を見直し復習しておく。60分程度							
授業計画							
第1回	ブランディング復習①ブランド定義とブランドアイデンティティ						
第2回	ブランディング復習②ブランド準備(3C分析とポジショニング、戦略の決定)						
第3回	ブランディング復習③ブランド形成(インナーブランディングとアウトターブランディング)						
第4回	ブランディング復習④ブランドデビュー後(ブランド管理)						
第5回	ブランド事例学習①ホスピタリティブランド(リッツカールトンホテルとオリエンタルランド)						
第6回	ブランド事例学習②見上げるブランドと親しみあるブランド(高級ブランドと庶民ブランド比較)						
第7回	ブランディング実践①アンケート及びインタビュー内容作成(質問紙法、クローズド・オープンクエッション)						
第8回	ブランディング実践②アンケート・インタビュー(在校生や教職員向け)						
第9回	ブランディング実践③収集した情報より資産、イメージ確認の上3C分析						
第10回	ブランディング実践④ブレーンストーミング会議にてブランドアイデンティティ決定						
第11回	ブランディング実践⑤リブランディング会議①(ブランドイメージの決定)						
第12回	ブランディング実践⑥リブランディング会議②(企画書の作成)						
第13回	ブランディング実践⑦リブランディング発表準備(企画書、スライド作成)						
第14回	リブランディングコンテスト(教職員向け)						
第15回	期末試験						
成績評価の方法							
区分		割合(%)	内容				
定期試験		70					
期試験以外(授業内の課題・参加度・出席態度等)		30					
その他		0					
教科書							
教科書配布せず適宜講義資料を配布しながら授業を行う							
参考書							
超実践！ブランドマネジメント入門(著者:上條憲二、出版社:ディスカバー・トゥエンティワン)							